



与野西北小だより

8・9月号

令和6年8月28日

【学校教育目標】	◇みんなと協力する子（徳育）	◇自分の力で考える子（知育）
	◇心身ともに健康な子（体育）	◇人との関わりを大切にする子（響育）
【学校経営方針】	みんなでつくる みんなの与野西北小学校	
【児童会スローガン】	せ・い・ほ・く だ・い・す・き	

【西北小学校50周年キャラクター】
西北五十丸



与野西北小学校 TEL853-0109 ホムラヅアドル http://yonoseihoku-e.saitama-city.ed.jp/

大切な瞬間に

校長 馬場 智哉

39日間の夏休みが終わり、学校に主役が戻ってきました。久しぶりに友達と会うことを楽しみにしながら登校した子、学校生活へのスイッチをまだ入れることができていない子等、様々な思いを抱きながら今日を迎えていることと思います。夏季休業等の長期休みの後は子どもたちの心のバランスが崩れやすくなります。子ども達の小さな変化を見逃さないように、家庭と学校で連携しながら見守っていきたいと思います。気になることがありましたら、学校に御相談ください。

さて、私がある学校で勤務していた時の出来事です。4月、私は6年生の学級担任となりました。そのクラスには、学校に行きたくないと言っている児童がいました。ここでは仮にAさんとしします。Aさんは声をかけても暗い表情のままです。話を聞いても理由を話そうとしません。保護者とも連絡を取り合いながら見守りました。（後日、5年生の時に友達とトラブルがあり、友達と関わるのが怖くなっていたと本人が話してくれました）

新年度が始まって2～3週間が経った頃、学級の児童が「今日、放課後に校庭で遊ぶ人で集まって遊ぼうよ」と学級全体に声を掛けました。そこから毎日のように、遊ぶことができる人が集まり、ドッジボールやサッカーなどをして放課後の時間を過ごすようになりました。しかし、Aさんは参加していませんでした。

そんなある日、Aさんが放課後、校庭に遊びに来ました。勇気を振絞って遊びに来たのだと思います。その時、クラスのある児童が「やった、Aさんが来てくれた」と言って喜んでくれたのです。その翌日からです。Aさんの表情は一変し、元気な姿を見せてくれるようになりました。「Aさんが来てくれた」と言った児童は、その時の思いを何気なく言葉にただけかもしれませんが、その一言がAさんを変えました。Aさんに勇気をくれました。その時にその言葉が無ければ、Aさんは元気を取り戻せなかったかもしれません。何気ない言動が良くも悪くも人を変えることがある。そのことを改めて実感した瞬間であり、一人ひとりの児童の大切な瞬間を見逃すことなく、やる気にさせる言葉かけができる、そのような教師・大人になりたいと思いつけています。

2学期は、運動会や修学旅行を始めとする校外学習等、多くの行事があります。日々の授業を大切にしながら、子ども達一人ひとりに寄り添い、計画した教育活動を確実に進めてまいります。昨年の9月は、インフルエンザ等の感染症が流行しました。体調管理にはくれぐれも御留意いただきますようお願い申し上げます。

年間の生活目標：気持ちのよい あいさつをしよう/ろう下は 右側を しずかに歩こう

8・9月の生活目標：右側を静かに歩こう

安全点検の結果：7・8月の安全点検の結果、異状ありませんでした。



【校長室より】

7月17日(水)西北フェスティバルが行われました。本年度は、1年生から6年生までの縦割りグループで、お店(射的やボーリング等)の準備をしました。6年生がリーダーシップをとり、下級生の意見も大切にしながらグループをまとめてくれました。フェスティバル当日も、協力してお店を運営するとともに、他のお店で仲良く遊び、全校で楽しい時間を過ごしました。中心となって準備を進めてくれた計画委員の皆さん、6年生の皆さん、ありがとうございました。



